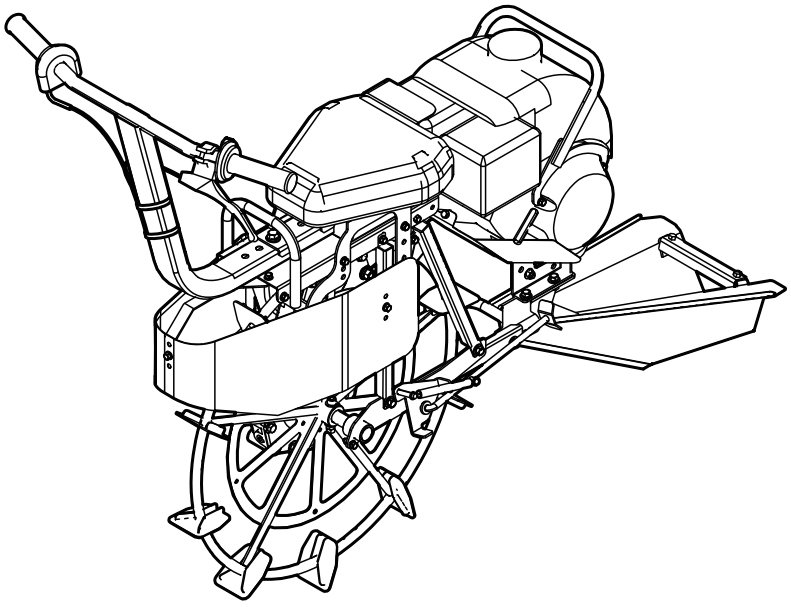
KIORITZ

共立水田乗用溝切機

取 扱 説 明 書

型　　式

MKS1000R



⚠ 警　告
ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 取扱説明書の指示内容を守ってください。 守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

●製品の使用目的
・この製品は4 サイクルエンジン水田乗用溝切機です。水田の溝切作業に使用してください。
・目的以外に使用しないでください。
●製品の使用者について
・この製品は取扱説明書をよく読んで十分に熟知した人が使用してください。
・取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、16 歳未満の人は製品を使用しないでください。
●取扱説明書について
・本書には、製品の組立や操作、整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。
・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。
・単位はSI 単位（国際単位系）を使用しています。（ ）内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。
●製品の貸与、譲渡
・本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。
●保証書
・この製品には保証書が同梱されています。
・使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。
・詳しくは保証書をお読みください。
●お問い合わせ先
・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。
●おことわり
・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
・本製品は一部部品の組立作業が必要となります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。
●製品の特徴
・この製品は水田の溝切作業を乗用で迅速にできます。
・圃場での方向転換も前輪を支点に容易にできます。

目　　次

⚠安全にご使用いただくために..... 3
■警告表示..... 3
■その他の表示..... 3
■シンボルマーク..... 3
■警告表示ラベルの貼付け位置..... 4
■一般的なご注意..... 5
■燃料およびエンジン取扱い上のご注意.... 6
■製品取扱い上のご注意..... 7
１．梱包部品一覧..... 9
２．各部の名称と機能..... 10
３．作業前の準備..... 11
3-1　組立..... 11
3-2　燃料の補給..... 11
４．エンジンの運転..... 12
５．移動・走行..... 12
5-1　輸送・移動..... 12
5-2　走行..... 13
６．溝切作業..... 14
6-1　作業前の準備..... 14
6-2　調整..... 15
6-3　溝切作業..... 17
７．点検・整備..... 18
7-1　点検・整備の目安..... 18
7-2　点検・整備要領..... 18
7-3　故障診断表..... 20
7-4　長期保管（３０日以上）..... 21
８．仕様..... 22
索　引..... 23

⚠ 安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

■シンボルマーク

本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を十分に理解してください。

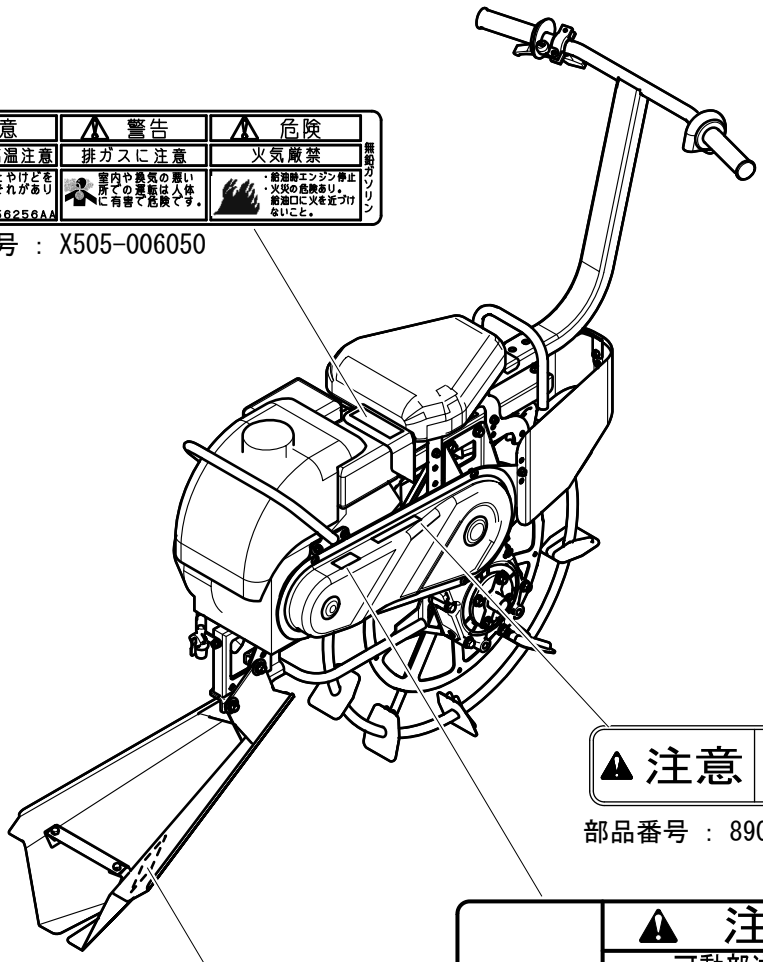
シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		「電気ショック」に注意すること
	作業中は、保護具を必ず着用すること		「挟まれ」に注意すること
	通気の悪い場所で製品を使用しないこと		高温部に注意すること。
	火災に注意すること		

⚠ 安全にご使用いただくために

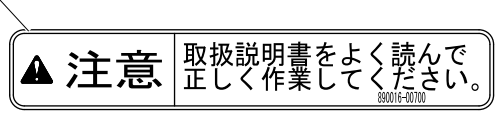
■警告表示ラベルの貼付け位置

・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。

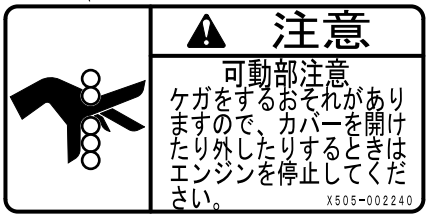
・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



部品番号 ： X505-006050



部品番号 ： 890016-00700



部品番号 ： X505-002240



部品番号 ： X505-006060

⚠ 安全にご使用いただくために

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用目的以外の使用禁止

・製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用しないでください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。



・疲労している人
・酒を飲んでいる人
・薬物を服用している人
・妊娠している人
・体調不良の人
・取扱説明書を読んでいない人
・16 歳未満の人
☆事故の原因となります。

●製品の改造禁止

・製品を改造しないでください。
☆事故や重傷を負う原因となります。
製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

●点検・整備をしていない製品の使用

・点検・整備をしていない製品を使用しないでください。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

次のような場合は製品を使用しないでください。
・降雨時や落雷の恐れがあるとき
・急傾斜地や雨上がりなどの足元が不安定な場所
・夜間や視界が悪く暗い場所
☆転倒や滑落、誤った操作などにより重傷を負う原因となります。

●点検・整備は運転を停止して

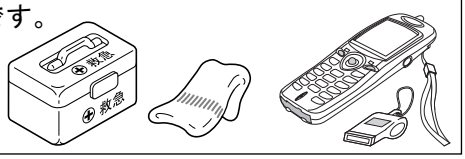
・製品を点検整備するときは、必ず運転を停止し、製品が冷えた状態になってから行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●健康管理

・健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・長時間の連続作業は避け、2 時間を限度としてください。
☆健康障害を受ける恐れがあります。

●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。
・救急箱（応急手当用）
・タオルやてぬぐい（止血用）
・呼子や携帯電話（外部との連絡用）
☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。
電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。
特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。
単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷し動けなくなり帰れなくなった場合の対処として有効です。



⚠ 安全にご使用いただくために

■燃料およびエンジン取扱い上のご注意

⚠ 危　険

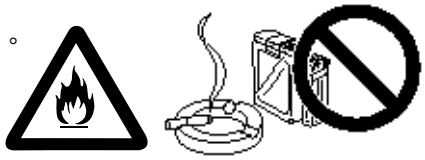
●燃料給油時は火気厳禁

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。次の項目を必ず守ってください。

・ 燃料給油中にタバコを吸ったり、火花を近づけない

・ エンジンが熱いときやエンジン運転中は、燃料補給をしない

☆ 燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



⚠ 警　告

● こぼれた燃料は火災の原因

燃料給油時はこぼれないように注意し、次の項目を守ってください。

(燃料タンクの口元まで給油しないでください)

・ 燃料がこぼれた場合はこぼれた燃料を拭き取る

・ 燃料を給油した後は燃料タンクのふたを確実に締付ける

☆ こぼれた燃料に引火して火災や火傷の原因となります。



● 燃料漏れは火災の原因

・ 作業前や作業後に、必ず燃料タンクや燃料ホースから燃料の漏れやにじみがないかを確認してください。

・ 燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

☆ 燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。



●エンジン始動時

エンジンを始動するときは、特に次の項目を守ってください。

・ 製品を平坦で通気性の良い、可燃物のない場所に置く

・ 燃料が漏れていないか確認

☆ 火災の原因になります

・ ボルトやナット類にゆるみがないことを確認

・ 周囲は広くとり、人や動物を近づけない

・ ごみ、空きカンなどの障害物は取除く

・ 右スロットルを一番戻した状態にあることを確認

☆ 始動前の注意を怠ると、事故や重傷を負う原因となります。

●始動後は異常振動・異常音の確認

・ エンジンを始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。
異常振動・異常音がある場合は製品を使用してはいけません。販売店に修理を依頼してください。

☆ 部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

●排気ガスは有毒

・ エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。

・ 屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。

☆ 排気ガスによる中毒事故の原因となります。



●点検・整備時はエンジン停止

作業後に製品の点検・整備を行なう場合は次の項目を守ってください。

・ エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検・整備

☆ 火傷を負う原因となります。

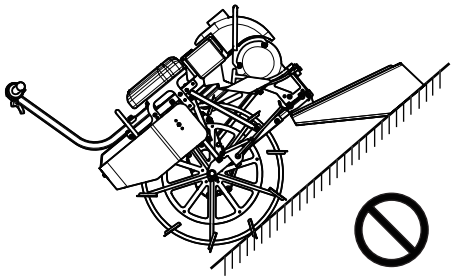


⚠ 安全にご使用いただくために

■製品取扱い上のご注意

⚠ 危　険

急停止や下り坂の走行をしないでください。
☆転倒により、事故や死亡または重傷を負うことになります。



⚠ 警　告

●保護具の着用

作業を行なう場合は、必ず下記の保護具を着用してください。



・ 作業帽
・ 耳栓
・ 作業用手袋
・ 身体に合った作業衣（長袖・長ズボン）
・ 作業長靴
☆聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

●製品使用時

製品を使用するときは、特に次の項目を守ってください。
・ 一般道路を走行しない
・ 荷物をのせて走行しない
・ 作業場所に、作業に関係のない人や動物を近づかせない
・ 足場の悪い場所では製品を使わない
・ 製品操作は、バランスを失わないように注意
・ よそ見をしない
・ ハンドルをしっかり握る
・ 夜間、夜遅くまたは朝早く近隣の人に騒音で迷惑をかけるときは、製品を使用しない
☆事故や傷害の原因となります。

●製品は常に正立状態で使用

・ 製品は水平に立てた状態で使用するよう設計されています。使用時および移動時に、横にしたり極端に傾けたりしないでください。
☆燃料漏れやオイル漏れの原因となります。

●鋭角部に注意

・ 本製品は構造上、プラウ、車輪、ラグ、スタンド等に鋭角部があります。点検・整備、積込作業時は不用意に鋭角部に触れないよう気をつけてください。
☆接触により、傷害を負う原因となります。

●異常時は直ちにエンジン停止

・ 作業中に製品が突然異常な音を発したり、異常な振動をした場合は、直ちにエンジンを停止してください。
異常振動・異常音がある場合は製品を使用しないでください。販売店に修理を依頼してください。
☆故障した製品をそのまま使用すると、事故や傷害の原因となります。

●運転中は高温部、高電圧部に接触禁止

製品の運転中および停止後しばらくの間は、次の高温部や高電圧部に触らないでください。
・ マフラやシリンダなどの高温部



☆高温部に触れると火傷します。
・ スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部



☆運転中に高電圧部に触れると感電します。

⚠ 安全にご使用いただくために

■製品取扱い上のご注意

⚠ 警　告

●走行時

走行するときは、特に次の項目を守ってください。

・ 右スロットルの急激な操作は行なわない

・ 水田以外の走行は乗車しない

☆ 事故や傷害の原因となります 。

●停車時

停車するときは、特に次の項目を守ってください。

・ 不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地に置かない

・ 製品から離れるときは、エンジンを停止する

☆ 事故や傷害の原因となります 。

●輸送・移動時

・ 製品を輸送・移動するときは、正立状態で動かないようにしっかり固定してください。

☆ エンジンの燃料タンク、キャブレタから燃料が漏れ、火災の原因となります 。

●点検・整備時は平坦な場所で

製品の点検・整備を行なう場合は、特に次の項目を守ってください 。

・ 平坦な場所に置き、付属のスタンドを使用する

・ 軟弱地や傾斜地では行なわない

☆ 転倒により、傷害を負う原因となります。

●製品の保管場所

・ 燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に製品を保管しないでください 。

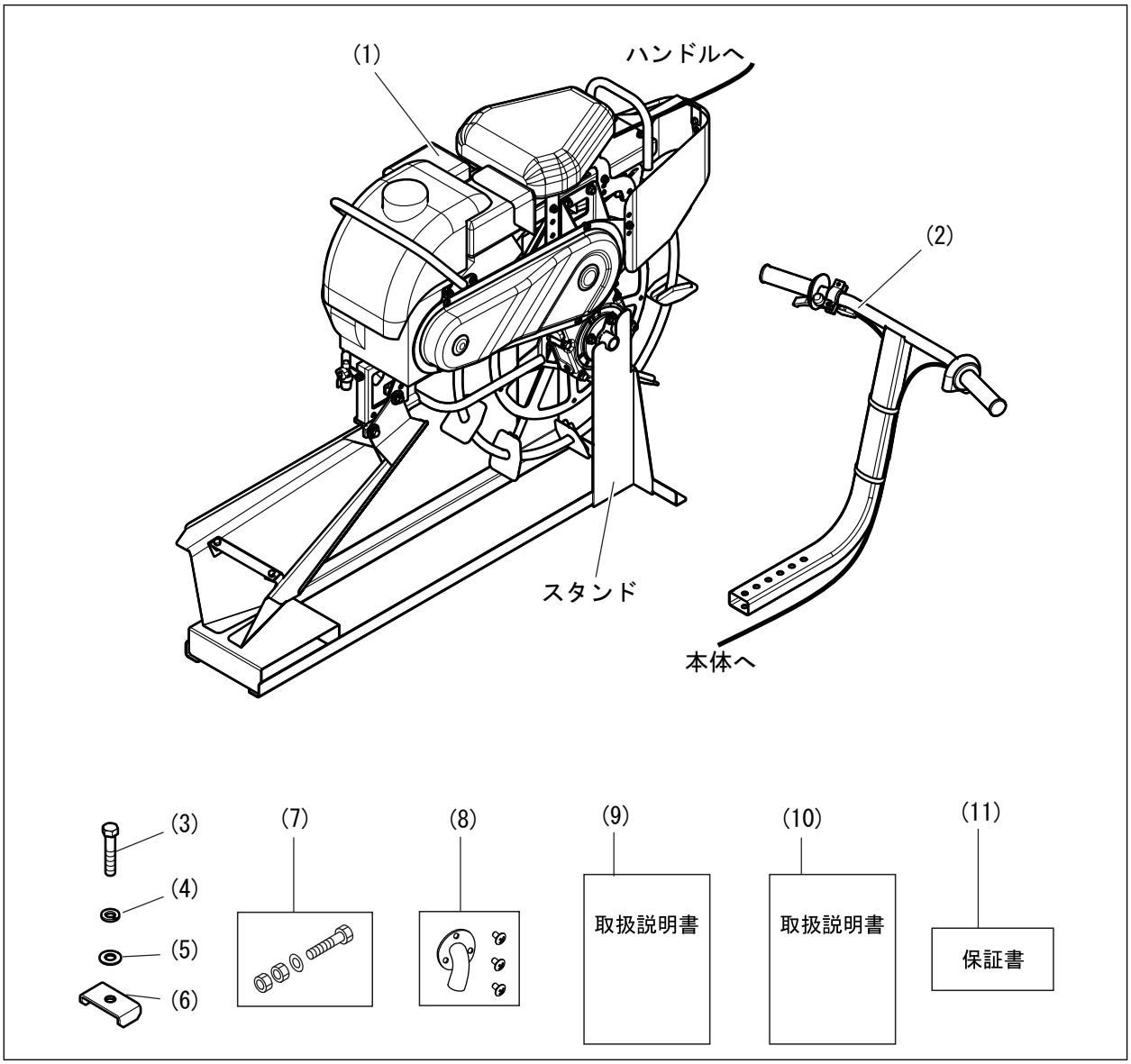
・ 必ず正立状態で保管してください。

☆ 火災の原因となります 。



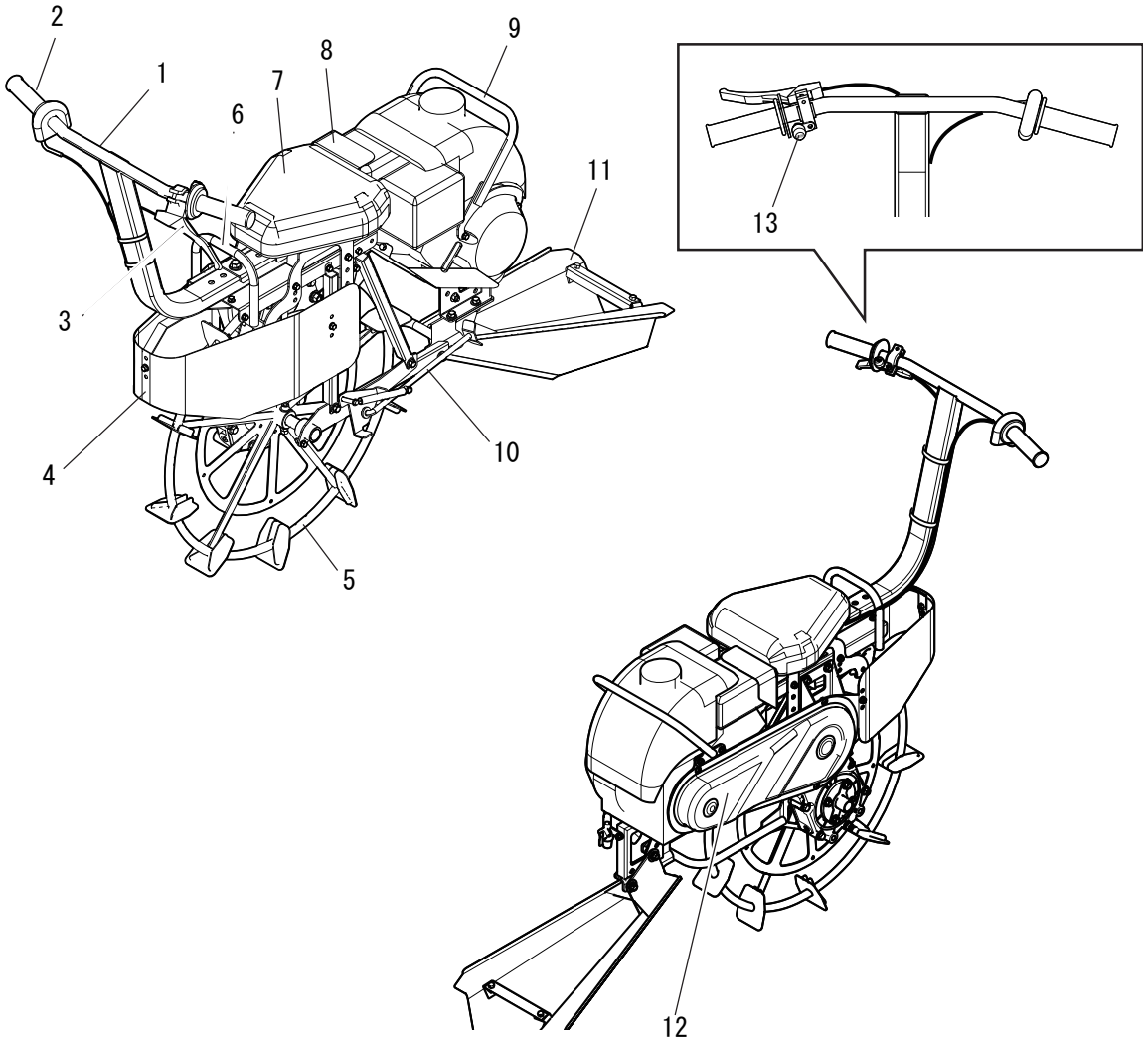
1．梱包部品一覧

・梱包の中には、下記部品が分かれて梱包されています。
・梱包を解きましたら、部品を確認してください。
・欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



番号	名称	個数
(1)	本体	1
(2)	ハンドル	1
(3)	ボルト	2
(4)	ばね	2
(5)	座金	2
(6)	ハンドル固定金具	2
(7)	車軸ピン（予備セット）	1
(8)	マフラディフレクタキット	1
(9)	取扱説明書	1
(10)	取扱説明書	1
(11)	保証書	1

2．各部の名称と機能



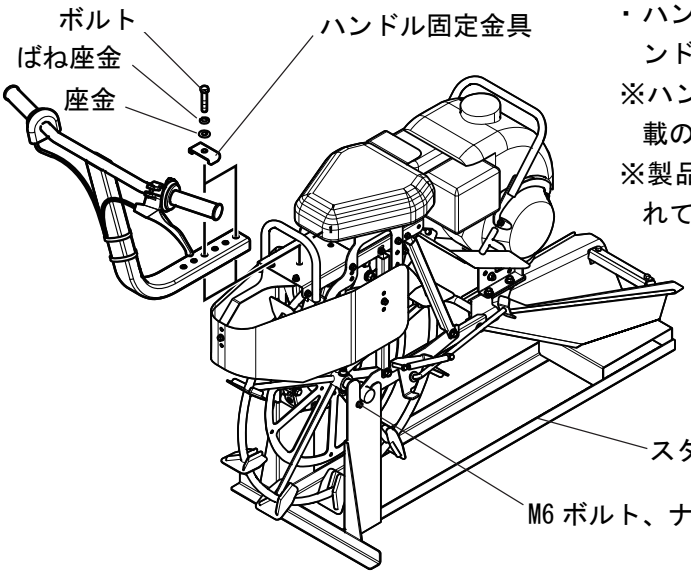
番　号	名　称	機　能
1	ハンドル	作業時に本体を支えます。
2	右スロットル	走行速度を調整します。
3	スロットルレバー	旋回、歩行移動時に使用します。 （スロットル開度が規制されています。）
4	分草板	車輪に稲が絡まることを防止します。
5	車輪	走行中の駆動力を伝えます。
6	前ハンドル	本体を持上げるときに使用します。
7	シート	走行時の座席です。
8	エンジンカバー	エンジンの熱から作業者を保護します。
9	後ハンドル	旋回時や本体を持上げるときに使用します。
10	サイドスタンド	ほ場などで一時的に停車するときに使用します。
11	プラウ	溝を切るためのものです。
12	ベルトケースカバー	ベルト、プーリのカバーです。
13	エンジン停止スイッチ	エンジンを停止させます。

3．作業前の準備

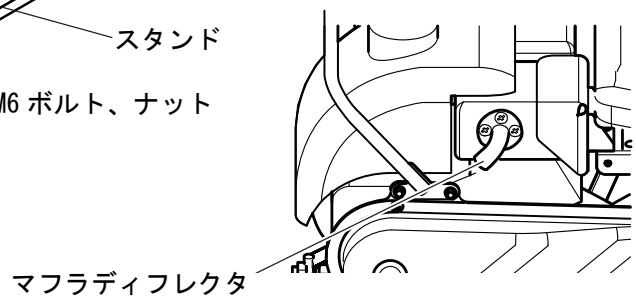
3－１　組立

⚠ 警　告

取扱説明書をよく読んで、正しく組立ててください。
☆誤って組立てた製品を使用すると、重傷事故を起こす原因となります。



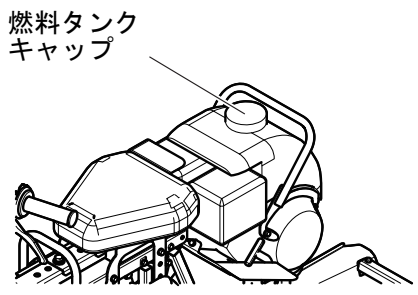
・ハンドルを本体にボルト、ばね座金、座金、ハンドル固定金具で組付けてください。
※ハンドル、シートの高さの調整は 16 ページ記載の「調整」を参照してください。
※製品とスタンドが M6 ボルト、ナットで固定されていますので、それぞれ取り外してください。
※排気ガスの作物への飛散が気になる場合は、付属のマフラディフレクタを図示の向きに取り付けてください。



3－２ 燃料の補給

⚠ 危　険

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。
エンジンの取扱説明書をよく読み、必ず守ってください。
・ 燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に十分注意してください。
　燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしないでください。
・ エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしないでください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



・燃料タンクキャップを緩め燃料タンクの肩口まで補給します。

４．エンジンの運転

⚠ 警　告

・ エンジン始動前に、スタンドに乗せたまま各スロットルがなめらかに動き、手を離して戻りきることを確認してください。
・ エンジンを始動するときは、本書の「安全にご使用いただくために」(6 ページ) 記載の「注意事項」を守って正しく操作してください。
☆「注意事項」を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります 。

重　要

・ エンジンを始動する前に、必ず右スロットルを一番戻した状態にあることを確認してください。
・ スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引きヒモの 2/3 以上は引出さないでください。
・ スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
・ エンジンの始動、運転、停止は同梱のエンジン取扱説明書を、よく読んで行なってください。
・ エンジンの始動は製品から降りて、製品後方より後ハンドルを押さえて始動します。

５．移動・走行

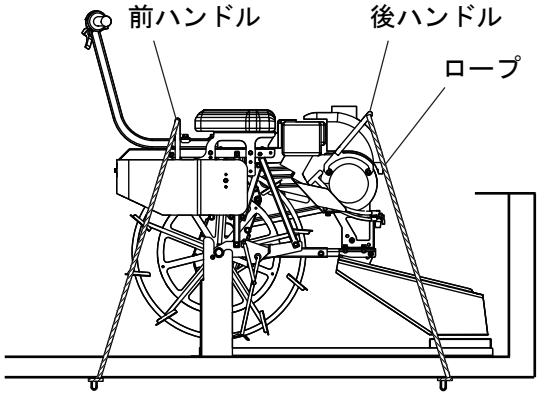
５－１　輸送・移動

⚠ 警　告

製品を輸送・移動するときは、必ず付属のスタンドを使用し、正立状態にて前・後ハンドルにロープなどを掛け固定してください。
☆エンジンの燃料タンク、キャブレタから燃料が漏れ、火災の原因となります 。

重　要

プラウ、プラウ取付部、および車輪ラグの変形に注意して固定してください。



製品を移動するときやトラックなどで輸送するときには、次の項目を守ってください。
・ 製品の荷重に耐えられる輸送機を使用してください。
・ 製品のエンジンを停止してください。
・ 燃料をカラにしてください。
・ ハンドルにはロープを掛けないでください。
・ 付属のスタンドを使用してください。

積み降ろし時の注意
製品をトラックに積み降ろしするときは、腰などの身体をいためないように十分注意して作業してください。

５．移動・走行

５－２　走行

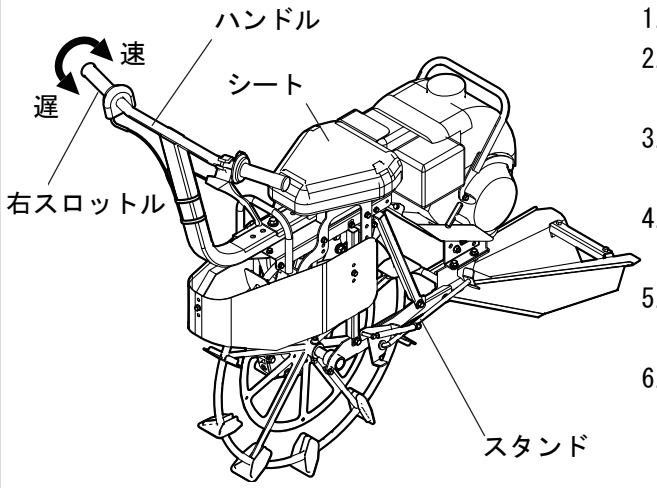
■ 走行

⚠ 危　険

右スロットルは急激に操作しないでください。
☆前方への転倒により、事故や死亡または重傷を負うことになります。
走行中は、車輪に足を巻き込まれないように注意してください。
☆事故や死亡または重傷を負うことになります。
摩耗したプラウは先端が鋭くなっており、触れると危険です。摩耗したプラウは使用しないでください。
☆事故や死亡または重傷を負うことになります。

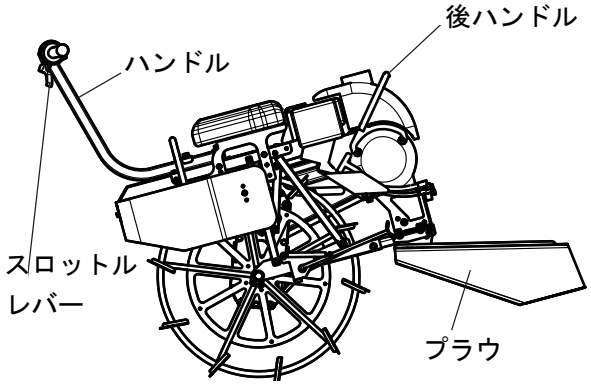
⚠ 注　意

カバーを外して運転しないでください。
☆ケガをする恐れがあります。



1. 体に合ったシート高さに調節してください。
2. シートにまたがり、スタンドを上げてください。
3. ハンドルを両手で握り、右スロットルを徐々手前にひねってください。
4. 右スロットルで希望の速度に調整してください。
5. 停止するときは右スロットルをゆっくり戻してください。
6. 停車したらエンジン停止スイッチで停止してください。

■ 旋回



1. シートから左方向に降りてください。
2. 後ハンドルでプラウを持ち上げてください。
3. スロットルレバーを使用し、車輪の回転を利用して本体を旋回させてください。

※ 作業者は本体前方寄りに立つと、旋回を容易に行なうことができます。
※ スロットルレバーは速度が上がりすぎないように規制されています。

６．溝切作業

６－１　作業前の準備

■ 圃場準備

⚠ 注　意
本製品は、極端な湿田や乾田など条件の合わない圃場では使用できません。

本製品を使用して溝切作業を行なうためには、作業に適した圃場の条件を整えることが必要です。

・田植え前に圃場ができるだけ平らになるように耕耘作業を行なってください。
・溝切作業の前には、土の表面に小さくヒビが入る程度に圃場を乾かしてください。
・溝切作業の直前に必ず走り水を入れて作業を行なってください。
・溝切作業後は、すみやかに落水して、中干しをしてください。

■ 作業の服装

⚠ 警　告
身体に合った作業衣を着用してください。体が露出しないようにしてボタン、ファスナを完全にして作業衣のすそはズボンの中に入れ、すそじまりをよくしてください。 上着（カッパ等）をばたつかせない服装にしてください。 ☆衣服がマフラに接触し、火傷や火災を起こす原因となります。 

■ 運搬方法

⚠ 警　告
・ 乗車しての運搬、移動は行なわないでください。 ・ 水田内での溝切作業以外では乗車しないでください。

⚠ 注　意
コンクリート、アスファルト、固い土の上は本体を持ち上げて運搬してください。

・ スタンドを後方へはね上げてください。
・ 畦や軟らかい土の上では、後ハンドルによりプラウを持ち上げ押すか低速で移動してください。
・ 圃場への出し入れは降車して行なってください。

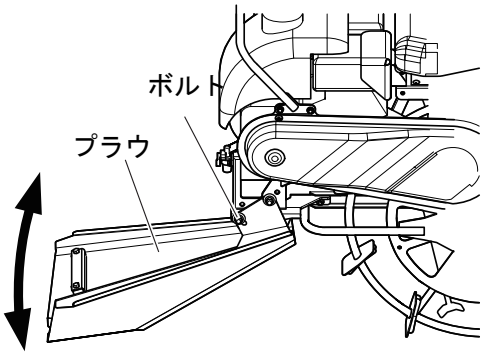
６．溝切作業

６－２　調整

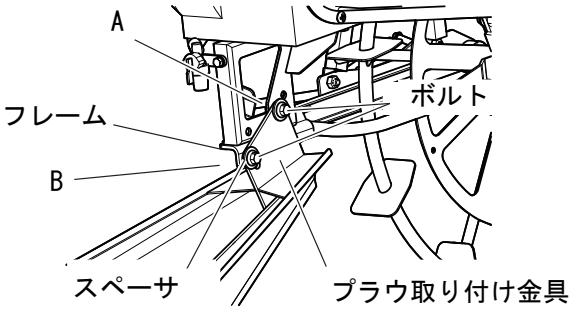
■ プラウの調整

⚠ 警　告

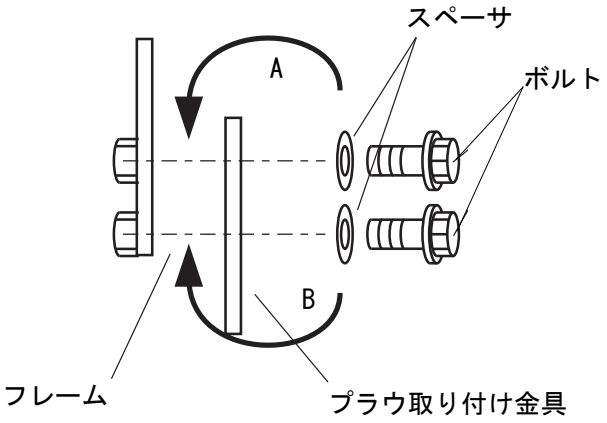
プラウの調整をするときは次のことを守ってください。
・ 厚手の手袋を使用すること
・ エンジンを停止すること
☆ケガや重症事故の原因となります。
摩耗したプラウは先端が鋭くなっており、触れると危険です。摩耗したプラウは使用しないでください。
☆ケガや重症事故の原因となります。



1. 溝の深さの調整はプラウ止めボルトを緩め、プラウの角度を調整してください。
※プラウを寝かせた状態を基準にして、徐々に立てていく方向で調整します。



2. ボルトを外し、スペーサを移動してフレームとプラウ取り付け金具の間に組込み、調整してください。
右に寄るときは図Aの位置に組込み、左に寄るときは図Bの位置に組込んでください。



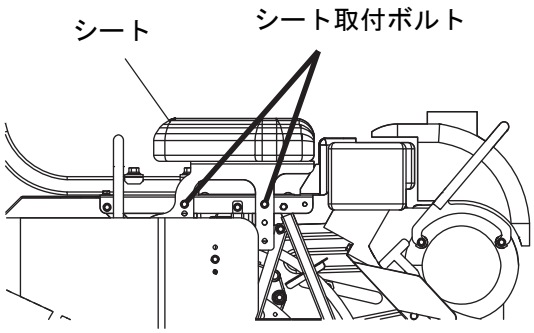
６．溝切作業

６－２　調整（続き）

⚠ 警　告

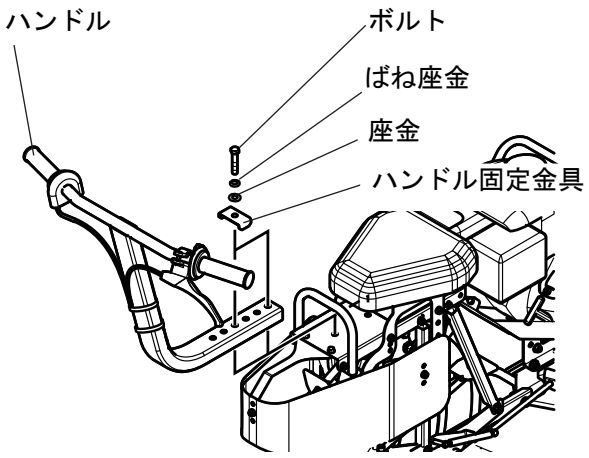
シート、ハンドル高さの調整を正しく行ない、シートに正しく乗車し、両手でハンドルを持ち作業してください。
☆転倒により、傷害を負う原因となります。

■ シートの高さ調整



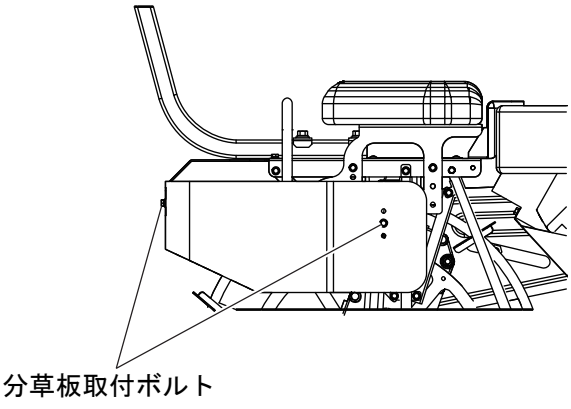
・作業者の体型に合わせて、シート取付ボルトを緩めて調整してください。３段階の調整ができます。

■ ハンドルの位置調整



・作業者の体型に合わせて調整してください。ハンドル位置は前後に三段階調節できます。

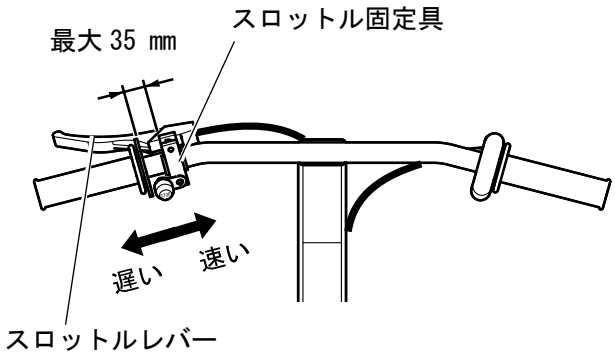
■ 分草板の調整



・分草板取付ボルトを取外し調整してください。

６．溝切作業

■ スロットルレバーの調整



・ スロットル固定具を緩め、スロットルレバーの取り付け位置を左右にずらすことでスロットル開度の規制幅を調整することができます。(35 ㎜を超えないよう注意してください)
調整後はスロットル固定具を締め付けてください。

６－３　溝切作業

■ 操作

⚠ 警　告

・ 二人乗りや製品の改造はしないでください。
・ 夜間や、視界が悪く暗い場所では、製品を操作しないでください。雨降り、雨上がり、強風のときも使用しないでください。
・ 走行速度を急に上げたり下げたりすると、前後左右へのバランスをくずし転倒する危険があります。徐々にエンジン回転を調整して発進・停止をしてください。
・ 無理に製品を傾けたり、足で抵抗をかけて進行方向を修正しようとするとバランスをくずし転倒する危険があります。進行方向がずれてきた場合は、いったん停止し、製品を進みたい方向にむけなおし、作業を再開してください。

⚠ 注　意

一つの圃場の中でも、一部深く沈みこむ場所など着座して作業ができない場所では、すみやかに製品から降りて歩行して作業をし、深く沈みこまない場所になったことを確認して、あらためて着座して作業を開始してください。

1. エンジン始動後、右スロットルを手前にひねっていくと車輪が回転を始めます。
2. 作業速度は圃場の条件によって調節してください。自転車等と同様に、前後左右のバランスを保つには一定の作業速度になることが必要です。
3. 車輪が泥の中に埋まってしまい車輪が回らなくなってしまった場合は、すみやかに右スロットル戻し、持ち上げてスタート場所を変えるか、手押し式と同じようにスロットルレバーを徐々に引き上げて車輪がゆるやかに回転する程度の速度で歩行して、着座スタートができる場所まで移動してください。
4. 製品が進み始めたら、両足を前方にのばし、足裏で水面を滑る感じで左右のバランスを取りながら作業をしてください。
5. 製品の進行方向は無理に修正せず、進みたい方向をまっすぐに見すえて走行してください。
   ※本製品は、左右にバランスよく着座すれば、車輪の方向に直進するように設計されています。
6. 水田内で作業する条を移動する場合は、溝切作業と同様に着座して行なうか、歩行式溝切機と同様に、歩行して移動することができます。
7. 運転中に異常な音、振動や異常な回転、走行部への石など異物のかみ込み等が生じた場合は、直ちにエンジンを停止させ点検してください。

7．点検・整備

7－１　点検・整備の目安

・お買い求め頂いた製品を調子よく安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行なってください。
・エンジン部分はエンジンの取扱説明書を参照してください。

重　要

年単位および月単位の整備間隔については、実際の使用状況と経験から判断し、必要に応じて点検・整備の回数を増やしてください。

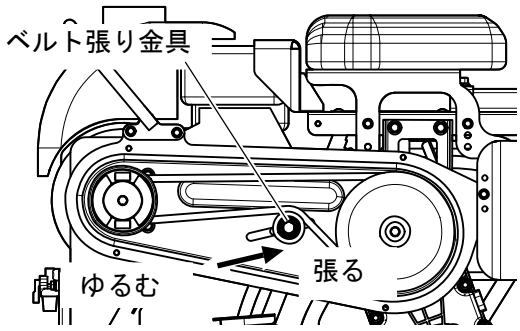
点検・整備箇所	点検・整備内容	掲載ページ	毎回	毎月
ネジ、ボルト、ナット類	点検／増し締め／交換	—	●	
スロットルの動き	点検／調整	—	●	
走行ベルト	点検／調整	18		●

7－２　点検・整備要領

重　要

・作業が終了した後は、製品をよく清掃し常に最良の状態に点検・整備しておくことが、次回の作業を順調に進めるのに最も大切なことです。
・点検・整備をするときは、必ずエンジンを停止して付属のスタンドで製品を固定してください。
・ご不明の点については、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 走行ベルトの点検



・スクリュ４本とベルトカバーケースを外し、ベルト張り金具で、手で車輪がまわる程度に調整してください。

■ プラウの交換

⚠ 警　告

プラウを交換するときは次のことを守ってください。
・厚手の手袋を使用すること
・エンジンを停止すること
☆ケガや重症事故の原因となります。
摩耗したプラウは先端が鋭くなっており、触れると危険です。摩耗したプラウは使用しないでください。
☆ケガや重症事故の原因となります。

・プラウが変形・摩耗したら、ボルト、スペーサ、ナットを外してプラウを外し、交換してください。

7．点検・整備

■ 潤滑油の給油

重　要
・交換後のオイルは、ゴミの中や地面、排水溝などには捨てないでください。 処理は購入した販売店に相談してください。 ・指定オイル以外のオイルを使用すると故障の原因になりますので、オイルは記載の指定オイルをご使用ください。 ・自然環境や動植物の生態系に影響を及ぼすことがあり、みだりに捨てると罰せられます。

■　　潤滑油について

潤滑油には、潤滑作用のほかに冷却・洗浄作用もあります。
潤滑油の給油は車両の性能、耐久性と重大な関係をもっていますから、規定の使用時間によって指定の潤滑油を規定量給油してください。
エンジンオイルの交換は、運転後オイルが暖かいうちに抜き取ると作業が容易です。
また、製品は水平にして行ないます。

項　目	交　換　時　期	オ イ ル の 種 類	規　定　量
エンジンオイル	初回 20 時間 以後 50 時間毎	エンジンオイル SE 級 10W-30	0.4L
ギヤオイル	初回 50 時間 以後 200 時間毎 または 2 年に 1 度	ギヤオイル SAE#90	0.25L

7．点検・整備

7－３　故障診断表

故障内容	故障診断	原因	対策
走行できない	車輪は回転する	車輪ラグの変形、摩滅	交換
		プラウの調整不良	調整
		圃場整備不良	圃場の整備
	車輪が回転しない	車軸ピンの折損	交換
		ベルトのスリップまたは伸び	交換
		ベルトケース内への泥水浸入	交換
		減速機の破損	交換
		遠心クラッチの摩耗	交換
走行速度が遅い		車輪ラグの変形、摩滅	交換
		スロットルケーブルの調整不良	調整
		プラウの変形	交換
		プラウの調整不良	調整
		遠心クラッチの摩耗	交換
直進走行が困難	プラウ取付が曲がっている	輸送時等の衝撃、圃場以外での走行等	スペーサーによる調整またはフレーム交換
		真直ぐに乗車してない	正しく乗車
		プラウの変形	交換
		車輪ラグの変形	交換
		各部締付ボルトの緩み	増し締め
		本体構成部品の変形	交換
		車輪フレームに泥の堆積	清掃
プラウ持上げが重い		プラウに泥の堆積	清掃
溝が正しく切れない		プラウの変形	交換
		プラウの調整不良	調整
		圃場整備不良	圃場の整備

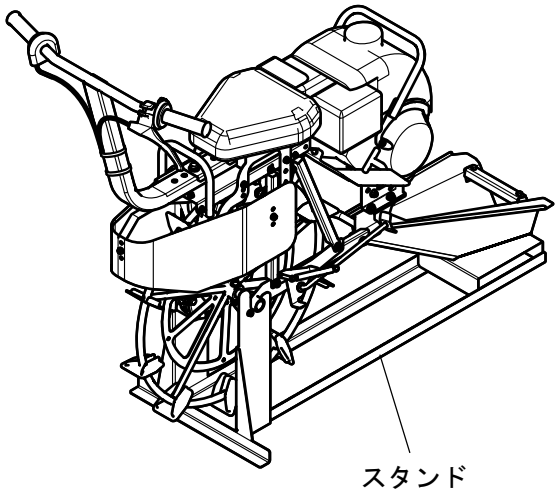
・点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
・表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

7．点検・整備

7－４　長期保管（３０日以上）

⚠ 警　告

製品を保管するときは、必ず正立状態にしてください。
☆エンジンに燃料が残っていると、燃料が漏れ火災の原因となります 。



製品を長期間（30 日以上 ）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 本書に定められた定期的な点検をしてください。製品のすべての部分を検査し、調節してください。スクリュ・ナット類が締まっているか確認し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。
   A. 必要ならば掃除をし、修理をしてください。
   B. サビ止めに、金属部分には薄く機械油を塗ってください。
2. エンジンの燃料タンク、キャブレタから燃料を抜きます。
3. 製品が十分冷えて乾いてから、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。
4. プラウ、車輪などの変形を防ぐため、付属のスタンドを使用してください。

●製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください 。

８．仕様

区分	項目		MSK1000R
質量	(燃料除く)	kg	36
容量	燃料タンク	L	1.2
寸法	長さ	mm	1260
	幅	mm	600
	高さ	mm	1070
エンジン	型式		三菱 GB101
	排気量	mL	98
	常用エンジン回転数	r/min	3600
	アイドリング回転数	r/min	1500
	キャブレタ形式		フロート式
	スパークプラグ		NGK　BP6HS
	始動方式		リコイルスターター
	動力伝達方式		遠心クラッチ
燃料			レギュラーガソリン
車輪	外径	mm	625
	幅	mm	70
	ラグ数		10
溝寸法	上辺	mm	210
	下辺	mm	110
	深さ	mm	130

＊ この仕様は、予告なしに変更することがあります。

索　引

異常振動・異常音……6, 7
後ハンドル……12, 14
エンジンカバー……10

警告表示……3, 4
高温部……7
高電圧部……7
梱包部品……9

シート……13, 16
車輪……10
車輪ラグ……10
仕様……21
シンボルマーク……3
スタンド……10
スロットルレバー……13, 17

燃料……21
燃料給油（補給）……6, 11
燃料タンクキャップ……11

排気ガス……6
ハンドル……13, 16
プラウ……15
分草板……16
ベルトケースカバー……10
保証書……2

前ハンドル……12
右スロットル……13, 17

ラベル……4

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
Tel 0120-176-181（製品・技術的な問い合わせ）
受付時間：弊社営業日 9:00～12:00
13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181（代）

北海道支社
〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249（代）

東北支社
〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511（代）

東日本支社
〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091（代）

中部支社
〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111（代）

西日本支社
〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911（代）

九州支社
〒816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361（代）

X753-003972
X753608-0503
2303m 0162 ES

© 2010 株式会社やまびこ 著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。